大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみ

令和２年度 第17号
令和２年６月４日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜お花で迎える心持ち＞

花いっぱい活動（人権の花運動）

今年も「花いっぱい活動」の始まりです。プランターに土を入れる人、花の苗を運ぶ人、土に穴をあける人等、どんぱんグループで役割分担し、花の苗の植栽を行いました。また、４年生と６年生が草取りをし、３年生と５年生が球根を掘り、校務員の高橋慶樹さんがきれいに整地、下準備をしてくれた玄関前の花壇には、５・６年生がていねいに植栽してくれました。

まだまだ苗は小さいですが、一致協力してお世話を進めていくことで、きっと豊かな花を咲かせてくれるものと期待しています。（夏場の草取りと水遣りが、秋の豊かさにつながります）　※

「人権の花運動」・・・法務省が推進するこの運動は、昭和57年度から実施されています。学校に配付した花の種子や苗、球根などを、協力し育てることによって生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としたものです。

６年が出張紙芝居

４月からずっと、朝の時間に６年生が１年教室に出張して、紙芝居をしてくれています。１年生にとって、とても楽しみな時間です。写真では、１年生の姿が見えませんが、全員がお行儀よく、お話を聞くことができました。

この日のお話は、「がんばれ、ウンチくん」。子どもたちが大好きなネタだったので、大盛り上がりでした。

本校の特色ある教育活動（外国語科、外国語活動）

本校には昨年度から、教育専門監と呼ばれる職員がいます。藤本圭がその職員です。すでにご存じのとおり、教科指導で優れた力をもった職員が、ある一つの教科において重点的な指導を行うもので、数校（藤本は四校）を掛け持ちして外国語科・外国語活動の指導を行っています。本校ではその成果もあり、小学生の英語とは思えないほど進んだ学習を展開しています。（私も、この時代の子どもだったら、ペラペラと英会話ができたのに。）

身近なところにクマが！（街中に出没）

先月から心配していた「クマの出没」。こんなにも学校の近くに現れるのだと、かなりビックリ。６月２日に豊川小学区に出没したとの情報もありましたので、私たちの近くを歩き回っていることに間違いありません。これに伴い、徒歩で登下校するお子さんには、自家用車等で送り迎えをお願いしました（明日まで）。ご協力に感謝申し上げます。今後の状況を見ながら、登下校の在り方も含め、対策を考えていきたい思います。

その７

本校の歴史をたどる

このコーナーは、本校のこれまでの半世紀をたどり、次の時代にに向けてエールを送るものです。

その７では、開校して１０年後の昭和５５年当時についてまとめてみました。この年に入学された皆さんは、今年４７歳になる方々です。ということは、６年生は５歳年上ですから５２歳です。

校長先生は大和田二郎先生で、角館からお越しです。職員の数は２１名で、今年度と同じです。教員１７人のうち、５０歳代が１３人と、かなり平均年齢は高かったようです。今現在、秋田県の教員の６割近くは５０歳代ですから、それ以上に高齢化が進んでいます。

※この４年後に私が県の教員として採用されますが、確かにその頃はおばあちゃん先生が多かったなあ。今は、私も十分におじいちゃん先生になってしまいましたが。

次の表は、在籍の児童数です。

	１学年			２学年			３学年			４学年			５学年			６学年			
	松	竹	計	松	竹	計	松	竹	計	松	竹	計	松	竹	計	松	竹	計	合　計
男	16	14	30	19	20	39	18	18	36	22	21	43	14	14	28	16	17	34	２０９
女	17	18	35	21	20	41	15	16	31	13	13	26	14	13	27	14	13	27	１８７
計	33	32	65	40	40	80	33	34	67	35	34	69	28	27	55	30	30	60	３９６

２年生が８０人ですから、おそらく、教室びっしりだったのではないでしょうか。当時は学級定員が４０人ではなかったので、一人増えても３学級にはならなかったと思います。

※私が２回目に担任をした学級は４２人でした。横に８人、縦に５～６人でした。

開校当初５５０人以上いた児童数は減り続け、昭和５３年には３７０人台までになっていますが、その後、増加に転じます。昭和６３年には４７０人台になりますから、１０年で１００人あまりの増加です。その後は再び減少が続き、今に至っています。昭和６３年ごろは、第２次ベビーブーム世代の皆さんが在学されている時代でしょうか。